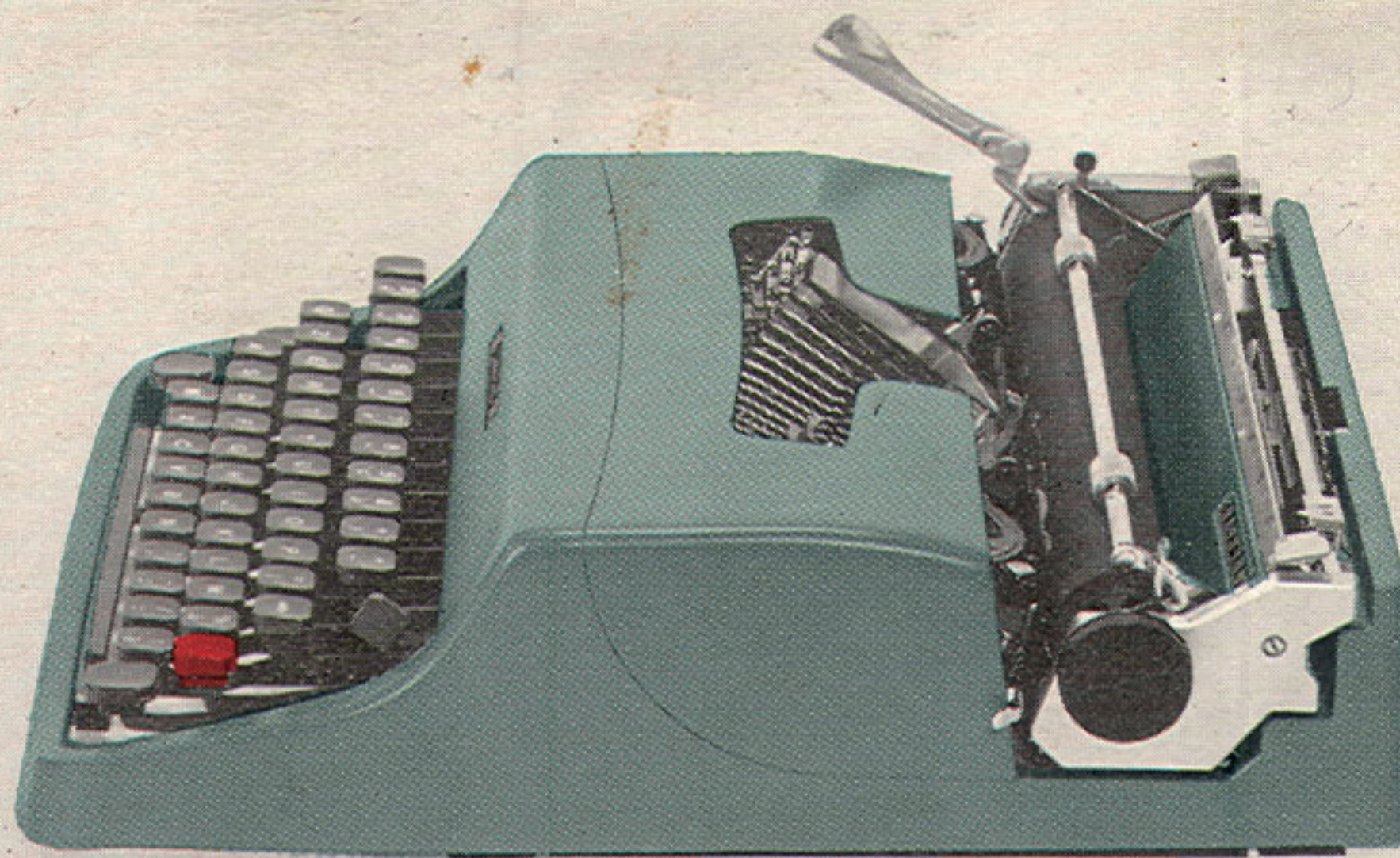




Olivetti Underwood Lettera 32

オリベッティ アンダーウッド レッテラ 32 (取扱説明書)

翻訳：ロナルド 始澤^{しざわ} (同人サークル MOZA MOZA)

Japanese Translation by Ronald SHIZAWA (Dōjin Circle MOZA MOZA)

16 キャリッジ・ロッキング・レバー

(輸送時給紙部固定レバー)

タイプライターをケースに入れ持ち運ぶ際、キャリッジ (給紙部) を中央位置 (センターポジション) に固定します。その時は左側にある **16 番** のレバーを下に下げるとロックすることが出来ます。

6 ラインスペース・アンド・キャリッジリターン・レバー (行間及び改行レバー)

このレバーは行末までタイプしたあと、キャリッジを左側の文頭の位置まで動かすと、同時にプラテン (圧盤ローラー) が回転し、次の行へ紙を送ることが出来ます。タイプライターをキャリングケースに戻す際は押し上げたレバーを、左側に動かし、下に押し下げ元に戻します。

8 ラインスペース・セクター (行間選択機)

タイプ時の行間は **8 番** レバーによって、四つの異なる行間にする事が出来ます。レバーを 0 の位置に動かすことで行送りをせずに、元の行のまま任意の文字を打つことが出来ます。

7 可変式行間変更ノブ

7 番ノブを回すことで、固定行間機能を使わずに手動で行間を変えることが出来ます。また、これはタイプライターに装着された紙の位置を調節するために使うことが出来、再度セットすることが出来ます。

10 マージンストップ (余白位置決定機)

左側の余白を設定するには、**13 番** のタイプガイドがすぐに入力を開始したい位置にまでキャリッジを移動させます。キャリッジを右側の停止位置に来るまで押し、左側のマージンストップをスライドさせることで左側の余白を調整することが出来ます。

右側の余白を設定するには、右側のマージンストップを押し、スライドさせることで右側の余白調整することが出来ます。

マージン・リリース 及び 段落字下げキー

単語の途中で文末まで来てしまった際、**4 番** キーによって 2 つのマージンストップによって、余白設定をし固定したマージンを一時的に解放することが可能になります。次の行送りの際、キーを押すと同時にキャリッジを戻すと、約 $1\frac{1}{2}$ インチの段落用の字下げをすることが出来ます。

15 排紙レバー

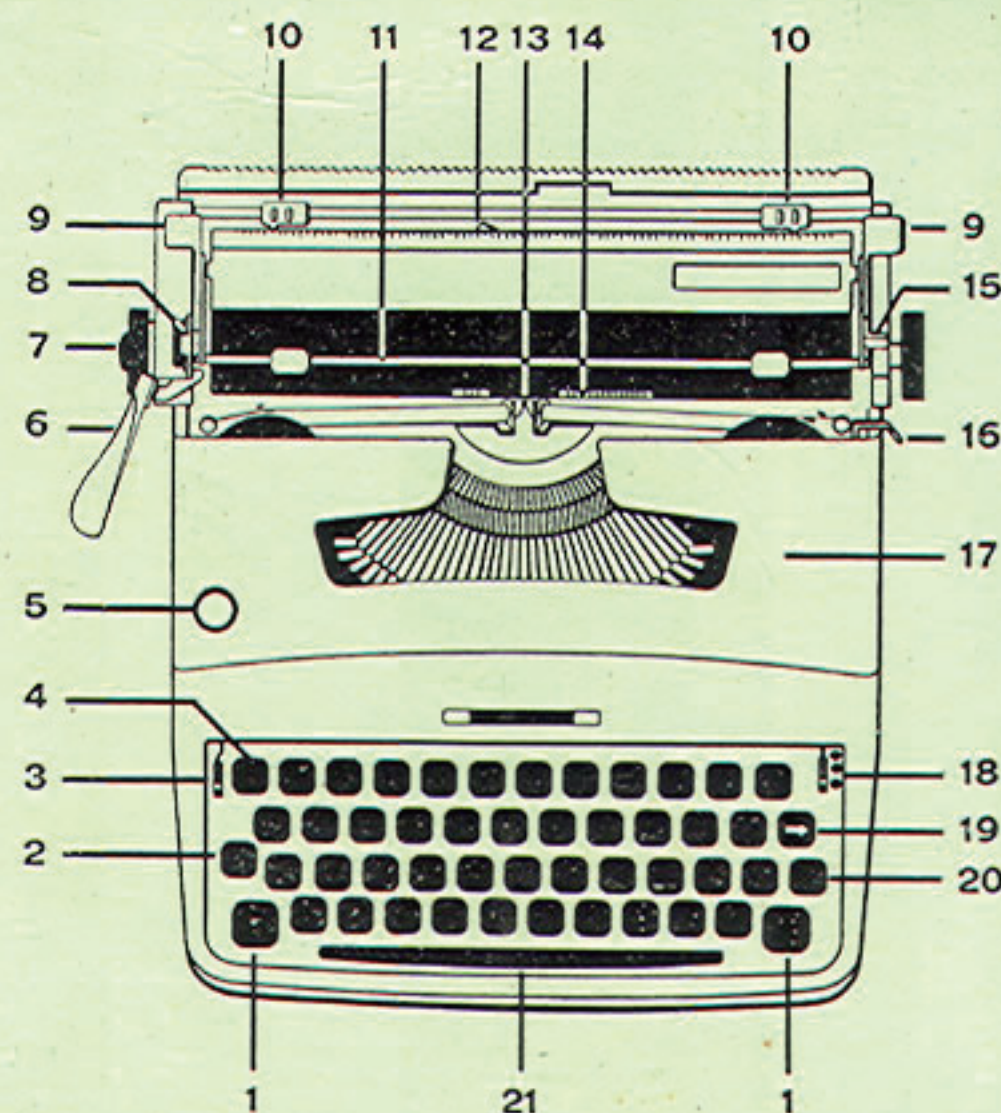
手前にレバーを引くと、プラテンのに挟まった紙を緩め、はずすことが出来ます。タイプライターに挿入された紙を垂直方向と水平方向に整え、調整する時にも使用します。

21 スペース・バー

スペースに沿ってキャリッジを移動するだけでなく、スペースバーは、行全体を消去しなくても、単語の打ち間違いを修正するために用いることができます。例：あなたが誤ってタイプした - **the vey good idea** - の代わりに - **the very good idea** - 以下のように不足している r を挿入します。1) ミスタイプした単語 vey を修正テープなどで消去します。2) The の e の文字に対してキャリッジを設定します。3) e を上書きしてからスペースバーを押し - それを押したまま - V の文字をタイプしてください。4) スペースバーを離し、次の文字 e を入力し、それを押してみよう。5) 同じように文字 r、y を続けて入力します。

タブレターの使い方

タブは、簡単に各列の先頭にキャリッジを停止することによって、表の中に数字や単語を入力することがで



- 1 シフト・キー
- 2 シフト・ロック
- 3 タブレーター・セッティング・アンド・クリーニングレバー
- 4 マージン・リリース 及び 段落字下げキー
- 5 パーソナル・タッチ・チューニング (キータッチ調整機)
- 6 ラインスペース・アンド・キャリッジリターン・レバー
(行間及び改行レバー)
- 7 可変式行間変更ノブ
- 8 ラインスペース・選択レバー
- 9 キャリッジリリース・レバー
- 10 マージン・ストップ
- 11 ベイル・ロッド (紙押さえ棒)
- 12 ペーパー・サポート
- 13 タイプ・ガイド
- 14 ライン・ファインダー
- 15 排紙レバー
- 16 キャリッジ・ロック (給紙固定) レバー
- 17 取り外し上部カバー
- 18 リボン色替え および ステンシル・レバー
- 19 バックスペース (後退) キー
- 20 タブレーター・キー
- 21 スペース・バー

きます。表(タブレーター)は**3番**のタブレーター・セッティング・アンド・クリーニングレバーを使いタブストップ(またはタブストップの解除)を設定します。を設定します:あなたは、次に**20番**のタブキーを押すことで表から表へのキャリッジの移動ができます。

タブレーターストップのセット

まず、あなたが最初の表の最初の文字(または数字)の位置までキャリッジを動かし、3番のタブレーターセッティングレバーを上にあげタブストップ設定することが出来ます。また表を同じ行に追加する為のタブストップを設定するには、さらに再度同じように、設定してください。

タブレーターを操作するとき、キャリッジは、次の列の最初の文字を入力するための位置に運ばれるまで、集計に一度タブストップが設定されている、あなたが入力し始めている、**20番**の赤いタブ・キーを押します。

シングルストップの解除

20番のタブレーター・キーを使った、キャリッジの移動に問題が起こったとき。タブレーター・レバーを下げて動かすことでタブセットは解除されます。**3番**のタブビューター・レバーを下げてキャリッジを端から端まで動かすことで。設定したタブストップは完全に解除されます。

18 インクリボンの色替え 及び ステンシルレバー

レバーの位置にによって、インクの色を変更できます。青い丸の位置にレバーを持っていくと黒インクでタイプすることができ、赤い丸の位置にレバーを持っていくと赤インクでタイプできます(赤黒二色リボン使用時) 白い丸は^{とうしゃばん}謄写版用テンシルとして使用できます。

17 取り外し可能トップカバー

17番のトップカバーは、活字の清掃時、および個人的なタッチチューニングレバーの変更、インクリボンの交換時などの際に簡単に取り外すことが出来ます。

5 パーソナル・タッチ・チューニング (キータッチ調整機)

トップカバーの下左脇にあるレバーは、あなたの好みのキータッチに三段階調整することができます。最も高い位置は軽いキータッチ、一番下の位置が最も重いキータッチです。

12 ペーパーサポート

ペーパーサポートを出すには、それらの下部に突き出した小さなブラケット(爪状の金具)を押してください。原稿を何枚もタイプしているときなどに使うと良いでしょう。

インクリボンの交換

トップカバーを外し、スプールの1つにリボンを巻きます。タイプガイド両脇のリボンバイブレーター(リボン支え)からリボンをスライドさせ外し、スプールを留める2つのネジをゆるめてはずし、スプールを取り出す。空のスプールの上に新しいスプールリボンを引っ掛けて、端から6インチ(約15cm)程度、金属性アイレット(ハトメ)が隠れる程度まで、それを巻いて、スピンドル(金属心棒)にリボンの赤い部分が下に来るようにスプールを取り付けてください。もう一方のスプールも同じように取り付け、最後にネジをしっかりと締めて固定します。

メンテナンス

活字のクリーニング——あなたのタイプライターの印字の調子が悪い場合、活字を掃除をしてください。ナイロンブラシなどを使い、一つ一つタイプフェイス(活字部)を清掃してください。アームの動きが悪い場合、アームの接合部に注油をするとよい。

プラテンのクリーニング—— 必要に応じて、アルコールに浸した白い布で、プラテンを拭いてください。

総合的な点検

点検サービスを受ける場合は、普通料金を支払いオリベッティ・アンダーウッドの支店か販売店へ、タイプライターをお持ちください。